

袖はぬらさじかに



藤吉 矢崎 広 亀遊 中島亜梨沙 お咲 未沙のえる 大榎屋主人 温水洋一 岩亀楼主人 佐藤 B 作 イルウス 横内 正



マリア 久保田磨希 岡田 大沢 健 松本 篠田光亮 多賀谷 林田航平 飯塚 榊原徹士 小山 瀬戸啓太



桜 一花 羽咲まな 美翔かずき 樋口 綾 石原絵理 小林千花 鈴木章生 伊吹謙太郎 森山栄治 永島敬三

柴田時江 尾上佳子 飯田 碧 川村紗也 喜多村千尋 田村りな 小山晶土 倉富尚人
加藤大駒 江利智広 深澤 誠 高橋榮琴 河原邦恵 金子ひろ子 大崎天花 松永鉄駒 松永鉄八

作：有吉佐和子 潤色・演出：原田 諒 音楽：玉麻尚一 劇中歌曲(邦楽)：今藤政太郎 所作指導・振付：尾上菊之丞 振付：麻吹梨乃
美術：松井るみ 照明：勝柴次明 音響：大坪正仁 衣裳：半田悦子 ヘアメイク：嶋田ちあき(大地真央)・青木満寿子
邦楽指導：成田涼子 囃子指導：望月左武郎 歌唱指導：山口正義 擬斗：清家三彦 演出助手：高野 玲 舞台監督：北條 孝
宣伝美術：鈴木利幸 宣伝写真：下村一喜 宣伝ヘアメイク：嶋田ちあき(大地真央)・Eita・青木満寿子 宣伝衣裳：石田節子(大地真央)・半田悦子

2019年11月3日(日)~27日(水) 開演時間 12:00 / 17:00
料金(税込) S席13,000円 A席9,000円 B席6,500円

11月	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
12:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
17:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※6歳以上有料/5歳以下のお子様のご入場はご遠慮ください。
※車いすスペースは明治座チケットセンター及び明治座切符売場にて販売いたします。

◆電話先行予約 9月21日(土)10:00~17:00 ◆一般販売(電話・ネット予約)9月28日(土)10:00~ ◆窓口販売・予約引取 10月1日(火)10:00~

明治座チケットセンター (10:00~17:00)	03-3666-6666	会員限定 インターネット 先行予約	明治座 倶楽部 9月15日(日)10:00 ~20日(金)17:00
10名様以上のグループ観劇 予約受付中(明治座営業部)	03-3660-3941	パソコンやスマートフォンから簡単に ご入会いただけます。	

インターネット予約 お取り扱い クレジットカード	●イープラス ●チケットぴあ ●ローソンチケット	http://eplus.jp/ http://t.pia.jp/ http://l-tike.com/	0570-02-9999(Pコード:494-166) 0570-084-003(Lコード:34629) 0570-000-407(オペレーター対応:10:00~20:00)	明治座 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2丁目31番1号 ○浜町駅(都営新宿線) ○水天宮前駅(半蔵門線) ○人形町駅(都営浅草線・日比谷線)
--------------------------------	--------------------------------	--	--	--

令和元年度(第74回)文化庁芸術祭参加公演

作/有吉佐和子(「ふるあめりかに袖はぬらさじ 中公文庫」)
潤色・演出/原田 諒(宝塚歌劇団)

2019年11月3日(日)から27日(水) 明治座

露をだに おとふ俊の 女郎花 おむね花
ふるあめりかに 袖はぬらさじ

時は幕末、港町横浜。

攘夷派による外国人排斥の機運が高まる中、

遊廓・岩亀楼がんきろうの芸者お園おの（大地真央）は、

病気がちな花魁・亀遊かまゆを看病していた。

亀遊は通訳の藤吉と想い合っているが、

お客として来たアメリカ人・イルウスに見初められてしまう。

だが、藤吉との恋が叶わぬことを憐んだ彼女は、

自らの手でその命を絶った。

お園はこの悲劇的な話をお客に語って聞かせるようになるが、

「異人の身請けを拒んで死んだ攘夷女郎・亀遊」と

虚像がしだいに膨らんでいき――。

昭和47年の文学座初演以来、幾度も再演を重ねてきた
有吉佐和子の名作『ふるあめりかに袖はぬらさじ』。

平成29年7月、明治座にて、主演の大地真央と

宝塚歌劇団気鋭の演出家・原田諒がタッグを組み、
音楽劇として装いも新たに上演いたしました。

大地は、お調子者でお人好しな三味線芸者、

お園のたくましく生きる姿を熱演。

珠玉の書き下ろし楽曲に彩られたこの作品は

大きな話題を呼びました。

大好評におこたえて、本年10月に福岡・博多座、
11月には東京・明治座での待望の再演が決定。

激動の幕末に生きる人間たちの悲喜劇に
どうぞご期待ください。

音楽劇として甦る 不朽の名作

